

# 「海外からの留学生による自国紹介や交流」 独立行政法人 日本学生支援機構

実践校：町田市立 町田第三小学校

実践日時：平成28年10月11日

対象学年：3年生92名(3学級合同)

教科・単元等：総合的な学習の時間 国際理解・交流



## 単元の目標

東京国際交流館へ入居する留学生（およそ80か国）による自国文化の紹介や交流を通じて、児童の国際学習や豊かな国際感覚の育成を支援する。

## 指導の計画

	学習活動	備考・留意点
事前学習	台湾について教師から話を聞き、聞こうとする意欲を持つ。	
本時	台湾から来日した留学生から台湾の食べ物紹介・文化紹介の話を聞く。 外国への意識を高める。 日本文化を発信することを通して、異文化交流を図る（秋田県 花笠音頭）。	
事後学習	振り返りの作文を書く。 台湾料理の給食を食べながら、学んだことを体験的に振り返る。	

## 授業の構成(45分)

導入 (4分)	野末直美校長があいさつ 台湾からの留学生(芝浦工業大学への)、ケ・ティハン(柯廷翰)さんの紹介。
展開 (39分)	ケさんが、台湾の文化(祭り、食べ物)について紹介。「台湾では旧正月(=春節)の最終日(15日=小正月)に提灯(ランタン)を灯したり、空に飛ばしたりする文化があり、各地でランタン祭りが開かれる」こと、「その日は特別な料理である、団子スープを食べる」ことなどを説明した。その後、子どもたちの質問を受けながら、実際に提灯を制作した。 その後、子どもたちがケさんに日本の文化を伝える発表を行い、花笠音頭やリコーダー(メリーさんのひつじなど)を紹介した。
まとめ(2分)	全員であいさつをして終了

## 担当教員のコメント(目標の振り返りを含む)

台湾料理と授業のコラボレーションは、児童の気持ちを高めることにつながりました。留学生の方が作ってくださった提灯を拡大するために、実物投影機があればよかったです。また、30分を提灯づくりにかけてしまっていたのがもったいなかったですが、3年担任の先生方が機転を利かせて質問コーナーを作ったことは素晴らしかったです。花笠音頭は珍しいらしく、留学生の方がとても興味を持ってくれました。

## 実施団体・講師のコメント

小学校に通う子どもたちの人生は先が長いので、どういったことを楽しみにして生きていけばいいかを伝えたかったです。自分たちのものとは違う文化や習慣を学ぶことで、もっと人生が豊かに、楽しくなっていくということを知ってほしいと思いました。子どもたちの発表はかわいらしく、とても興味深い内容でした。

## 当該校におけるこの他のオリンピック・パラリンピック教育の取組

各教科や総合的な学習の時間などで、「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」について学ぶ取り組みを実施。リオデジャネイロパラリンピック女子自転車の銀メダリスト・鹿沼由理恵選手、海外からの研修生ら多くの外部講師を招き、子どもたちの体験と理解を深めている。「世界ともだちプロジェクト」では、台湾やメキシコなど5カ国を学習。